

# 平成21年度 教育委員会の点検・評価表



大館市教育委員会

教育総務課

# はじめに

## 点検・評価の主旨について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

本市教育委員会では、この法律の主旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対して明確で分かりやすい説明を行うため、本報告書を作成しております。

点検評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条に規定する教育委員会で職務権限とされている事務のほか、平成21年度の事務・取組みとし、学校教育や生涯学習に関することなど、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象の範囲としております。

点検・評価に当たっては、毎年発行の教育要覧2009「大館市の教育」に掲げる「大館市教育目標・推進目標・重点目標」に沿って、主な事務、取組みを選定して実施しております。

一方、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第2項）が求められていることから、大館市社会教育委員長、副委員長及び大館市スポーツ振興審議会委員長、副会長に依頼し、点検評価について個別にご意見をいただきました。

今後も、報告書の内容につきましては、有識者の皆様方はじめ議会や市民の皆様のご意見などを広く聞きながら、より適切な制度運用を図り、本市教育委員会の活性化につながるよう努めてまいります。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 重点施策個別表

1-1

推進目標						
1	安全でゆとりと潤いをもたらす教育環境の整備充実					
重点施策						
1	安全で快適な教育の場としての学校施設の整備充実	担当課(館)				
	① 耐震補強工事の実施	教育総務課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>二次診断の結果、耐震補強工事が必要とされた小学校2校(桂城、城南)、中学校4校(花岡、南、比内、田代)のうち、本年度は緊急性の高い比内中の耐震補強工事と、桂城小及び田代中の実施設計を行う。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>比内中特別教室棟の耐震補強工事は21年6月に着工し22年1月に完成、桂城小及び田代中の実施設計は6月に委託し8月に完成している。 経済危機対策関連事業の前倒しで21年度事業として桂城小、田代中の耐震補強工事を実施することとし22年2月に工事を発注している。 国の緊急経済対策事業を利用し、計画を前倒しで進めることができた。</td> </tr> </table>	活動内容	二次診断の結果、耐震補強工事が必要とされた小学校2校(桂城、城南)、中学校4校(花岡、南、比内、田代)のうち、本年度は緊急性の高い比内中の耐震補強工事と、桂城小及び田代中の実施設計を行う。	自己評価	比内中特別教室棟の耐震補強工事は21年6月に着工し22年1月に完成、桂城小及び田代中の実施設計は6月に委託し8月に完成している。 経済危機対策関連事業の前倒しで21年度事業として桂城小、田代中の耐震補強工事を実施することとし22年2月に工事を発注している。 国の緊急経済対策事業を利用し、計画を前倒しで進めることができた。	
活動内容	二次診断の結果、耐震補強工事が必要とされた小学校2校(桂城、城南)、中学校4校(花岡、南、比内、田代)のうち、本年度は緊急性の高い比内中の耐震補強工事と、桂城小及び田代中の実施設計を行う。					
自己評価	比内中特別教室棟の耐震補強工事は21年6月に着工し22年1月に完成、桂城小及び田代中の実施設計は6月に委託し8月に完成している。 経済危機対策関連事業の前倒しで21年度事業として桂城小、田代中の耐震補強工事を実施することとし22年2月に工事を発注している。 国の緊急経済対策事業を利用し、計画を前倒しで進めることができた。					
	② 小中学校施設の大規模修繕の実施	教育総務課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>経年劣化が著しい有浦小体育館屋根修繕、強風により屋根の一部がはがれた扇田小体育館の屋根補修工事を実施する。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>有浦小屋根修繕については、20年度修繕で一部残った分の工事を21年4月に着工し6月に完成させている。 また、扇田小体育館の屋根補修については7月に着工し9月に完成させており予定どおり行うことができた。 ただ、学校行事の都合で着工が遅れるなどしたことから、今後は学校との連絡を密にして工事を行いたい。</td> </tr> </table>	活動内容	経年劣化が著しい有浦小体育館屋根修繕、強風により屋根の一部がはがれた扇田小体育館の屋根補修工事を実施する。	自己評価	有浦小屋根修繕については、20年度修繕で一部残った分の工事を21年4月に着工し6月に完成させている。 また、扇田小体育館の屋根補修については7月に着工し9月に完成させており予定どおり行うことができた。 ただ、学校行事の都合で着工が遅れるなどしたことから、今後は学校との連絡を密にして工事を行いたい。	
活動内容	経年劣化が著しい有浦小体育館屋根修繕、強風により屋根の一部がはがれた扇田小体育館の屋根補修工事を実施する。					
自己評価	有浦小屋根修繕については、20年度修繕で一部残った分の工事を21年4月に着工し6月に完成させている。 また、扇田小体育館の屋根補修については7月に着工し9月に完成させており予定どおり行うことができた。 ただ、学校行事の都合で着工が遅れるなどしたことから、今後は学校との連絡を密にして工事を行いたい。					
	③ 第一中学校へのエレベーター設置工事	教育総務課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>第一中学校を肢体不自由生徒のための拠点校とするため、車椅子対応のエレベーターを設置する。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>第一中学校のエレベーターについては21年5月に着工し9月に完成している。 更に肢体不自由生徒のための拠点校としての機能の充実を図るため、体育館やプール等の入口に車イス用のスロープを設置した。 生徒の健全な学校生活を確保するため学校と一体で早期に取り組むことができた。</td> </tr> </table>	活動内容	第一中学校を肢体不自由生徒のための拠点校とするため、車椅子対応のエレベーターを設置する。	自己評価	第一中学校のエレベーターについては21年5月に着工し9月に完成している。 更に肢体不自由生徒のための拠点校としての機能の充実を図るため、体育館やプール等の入口に車イス用のスロープを設置した。 生徒の健全な学校生活を確保するため学校と一体で早期に取り組むことができた。	
活動内容	第一中学校を肢体不自由生徒のための拠点校とするため、車椅子対応のエレベーターを設置する。					
自己評価	第一中学校のエレベーターについては21年5月に着工し9月に完成している。 更に肢体不自由生徒のための拠点校としての機能の充実を図るため、体育館やプール等の入口に車イス用のスロープを設置した。 生徒の健全な学校生活を確保するため学校と一体で早期に取り組むことができた。					

# 重点施策個別表

1-2

推進目標						
1	安全でゆとりと潤いをもたらす教育環境の整備充実					
重点施策						
2	健康維持管理増強の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実	担当課(館)				
	① 長根山陸上競技場整備改修計画	スポーツ課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>長根山陸上競技場の公認更新工事に際し、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業認定を受け、平成23年度までの計画を1年短縮、経年劣化したトラック走路の100mスタート部分過ぎからウレタンオーバーレイ(A=1, 275㎡)などの整備を実施する。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>長根山陸上競技場2種公認更新工事については、平成23年度までの計画を1年短縮し今年度分は9月着工、12月に完成し、22年度春の各種大会から使用できることとなった。 なお、22年の秋には最終工事が予定されている。</td> </tr> </table>	活動内容	長根山陸上競技場の公認更新工事に際し、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業認定を受け、平成23年度までの計画を1年短縮、経年劣化したトラック走路の100mスタート部分過ぎからウレタンオーバーレイ(A=1, 275㎡)などの整備を実施する。	自己評価	長根山陸上競技場2種公認更新工事については、平成23年度までの計画を1年短縮し今年度分は9月着工、12月に完成し、22年度春の各種大会から使用できることとなった。 なお、22年の秋には最終工事が予定されている。	
活動内容	長根山陸上競技場の公認更新工事に際し、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業認定を受け、平成23年度までの計画を1年短縮、経年劣化したトラック走路の100mスタート部分過ぎからウレタンオーバーレイ(A=1, 275㎡)などの整備を実施する。					
自己評価	長根山陸上競技場2種公認更新工事については、平成23年度までの計画を1年短縮し今年度分は9月着工、12月に完成し、22年度春の各種大会から使用できることとなった。 なお、22年の秋には最終工事が予定されている。					
	② 達子森野球場ゴムラバーフェンス塗装工事	スポーツ課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>経年劣化が著しい達子森野球場ゴムラバーフェンスの塗装工事を実施する。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>達子森野球場ゴムラバー塗装工事については、2年計画の1年目の工事で、8月着工、9月完成、秋の大会に影響がないよう短期間で完成させることができた。</td> </tr> </table>	活動内容	経年劣化が著しい達子森野球場ゴムラバーフェンスの塗装工事を実施する。	自己評価	達子森野球場ゴムラバー塗装工事については、2年計画の1年目の工事で、8月着工、9月完成、秋の大会に影響がないよう短期間で完成させることができた。	
活動内容	経年劣化が著しい達子森野球場ゴムラバーフェンスの塗装工事を実施する。					
自己評価	達子森野球場ゴムラバー塗装工事については、2年計画の1年目の工事で、8月着工、9月完成、秋の大会に影響がないよう短期間で完成させることができた。					
	③ 田代野球場バックスクリーン塗装工事	スポーツ課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>経年劣化が著しい田代野球場バックスクリーンの塗装工事を実施する。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>田代野球場バックスクリーン塗装工事については、9月着工、10月完成、競技に支障もなく完成することができた。</td> </tr> </table>	活動内容	経年劣化が著しい田代野球場バックスクリーンの塗装工事を実施する。	自己評価	田代野球場バックスクリーン塗装工事については、9月着工、10月完成、競技に支障もなく完成することができた。	
活動内容	経年劣化が著しい田代野球場バックスクリーンの塗装工事を実施する。					
自己評価	田代野球場バックスクリーン塗装工事については、9月着工、10月完成、競技に支障もなく完成することができた。					
	④ 大館野球場防球ネット設置工事	スポーツ課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>大館野球場に隣接している住宅へ、フェンスネットが低くボールが当たるため、防球ネットの設置工事を実施する。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>大館野球場防球ネット設置工事については、6月着工、6月完成、レフト外野側の住宅前に設置し一部住宅への落下が解消できた。 しかし、まだ防護できない住宅もあることから、来年度以降も引き続き取り組んでいきたい。</td> </tr> </table>	活動内容	大館野球場に隣接している住宅へ、フェンスネットが低くボールが当たるため、防球ネットの設置工事を実施する。	自己評価	大館野球場防球ネット設置工事については、6月着工、6月完成、レフト外野側の住宅前に設置し一部住宅への落下が解消できた。 しかし、まだ防護できない住宅もあることから、来年度以降も引き続き取り組んでいきたい。	
活動内容	大館野球場に隣接している住宅へ、フェンスネットが低くボールが当たるため、防球ネットの設置工事を実施する。					
自己評価	大館野球場防球ネット設置工事については、6月着工、6月完成、レフト外野側の住宅前に設置し一部住宅への落下が解消できた。 しかし、まだ防護できない住宅もあることから、来年度以降も引き続き取り組んでいきたい。					

# 重点施策個別表

1-3

推進目標	
1	安全でゆとりと潤いをもたらす教育環境の整備充実
重点施策	
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実
	担当課(館)
	① 文化会館大ホール改修事業
	教育総務課
活動内容	施設経年劣化による損傷著しい文化会館大ホールの舞台機構(ベルト、ロープ、滑車、幕地等)の改修工事を実施する。
自己評価	文化会館の大ホールの舞台機構については21年度、23年度の2か年で実施の予定であったが、地域活性化・経済危機対策臨時交付金関連事業として23年度分を前倒して一括して実施することができた。 改修工事は、21年11月に着工し22年3月に完成している。 国の補助を利用しながら大規模改修工事が順調に進み利用者の安全・安心を確保することができた。
	② 秋田三鶏記念館(仮称)の建設
	教育総務課
活動内容	国指定の天然記念物・比内鶏及び声良鶏と、県指定の天然記念物・金八鶏の保護育成と啓蒙普及のため、秋田三鶏記念館(仮称)を建設する。
自己評価	秋田三鶏記念館の建設については、21年7月に着工し22年1月に完成している。2月には備品等の導入が行われ、3月から孵化、育すう作業が実施された。 建設位置の最終確認で時間を費やしたが、その後の作業が順調に進み予定通りの完成となった。 三鶏の保存・育成のための拠点施設が完成したことにより、今後は活発な保存・啓蒙活動を行うことができる。
	③ 真中公民館改修事業
	教育総務課
活動内容	施設経年劣化により損傷の著しい公民館屋根の塗装工事を実施する。
自己評価	各公民館等の施設の屋根塗装については、劣化損傷の状況に応じて計画的に実施しているが、本年度は真中公民館の屋根塗装を6月～7月にかけて実施し完成している。 今後も計画に沿って順次対応していきたい。

# 重点施策個別表

2-1

推進目標			
2	豊かな人間性をはぐくむ学校教育の創造		
重点施策			
1	規律ある落ち着いた生活ができ、心豊かで、実行力のある子どもをはぐくむ指導		担当課(館)
	① 学校訪問指導の実施		学校教育課
	活動内容	年2回の要請訪問等での指導を充実させるとともに、要請訪問のための事前訪問を確実に実施して学校の課題を把握しながら指導に生かすように努める。 また、学校からの相談に気軽に対応できる体制を確立する。	
	自己評価	課題把握のための事前訪問を実施し、諸検査の結果と併せて学校課題を把握して要請訪問を実施したことで、学校の実態に即した指導をすることができた。 また、要請訪問だけでなく、学校からの随時相談に応じた学校訪問を行い、学校の課題解決に向けた支援を充実させることができた。 今後、訪問のねらいをより学校の課題に基づいたものにするために、さらなる工夫が必要である。	
	② いじめ・不登校対策事業の実施		学校教育課
	活動内容	推進委員と協力してふれあい親の会・ふれあいお楽しみ会・学級担任研修会の内容の充実を図るとともに、いじめ・不登校に関する調査を実施し、分析した結果の活用方法を工夫するなど、いじめ件数・不登校児童生徒数が減少するように努める。	
自己評価	昨年度の反省を踏まえ、推進委員や各学校との連携を密にした結果、ふれあい親の会やお楽しみ会に例年以上の参加があり、内容を充実させることができた。 また、不登校調査の様式を変えたことで、児童生徒の変容の把握と学校での活用が充実した。 今後は、本事業をさらに多くの教職員に理解してもらうための工夫が必要である。		

# 重点施策個別表

2-2

推進目標			
2	豊かな人間性をはぐくむ学校教育の創造		
重点施策			
2	基礎的・基本的な知識・技術を確実に身に付けさせ、自ら学ぶ意欲と態度を育てる学習指導		担当課(館)
	① 「第6次学力向上対策」の4つの共通実践事項		学校教育課
	活動内容	3年計画の2年目に当たり、「小・中連携を通じた学力向上の取り組み」・「各学校間の積極的な交流」・「諸検査の分析と結果に基づいた指導」・「確かな学力を確立するための教育課程の編成」の4つの共通実践事項の中間評価を行い、さらなる取り組みの充実を図る。	
	自己評価	今年度計画した第6次学力向上対策の中間評価を予定どおり実施することができた。 様々な視点からの評価を行い、平成20年度から今年度前期までの課題を明確にし、各学校等に周知することでさらなる意欲の喚起を図ることができたことは評価できる。	
	② ALT等の学校訪問		学校教育課
	活動内容	ALT3名による中学校の訪問指導を継続しながら新しく始まる小学校外国語活動に支援員2名を派遣し、効果的な活用を図るとともに、小学校外国語活動が充実できるような支援を行う。	
自己評価	ALT3名の訪問を継続しながら支援員2名を新たに派遣したことにより、中学校の英語授業だけではなく小学校英語活動の充実を図ることができた。 学校から訪問時間数を増やしてほしいという要望が多いので、ALTあるいは支援員の増員を検討していく必要がある。		

# 重点施策個別表

2-3

推進目標			
2	豊かな人間性をはぐくむ学校教育の創造		
重点施策			
3	地域に開かれた信頼される学校づくり		担当課(館)
	① 学校評価の充実		学校教育課
	活動内容	全小・中学校における学校評価の本格実施2年目に当たり、各学校において評価がスムーズに行えるような支援を充実させ、学校評価が学校経営の改善に結び付くようにする。	
	自己評価	「学校評価パンフレット」の見直しを行ったり、学校評価の進め方の具体を年度当初に学校に配布するしたりすることでスムーズに進めることができた。 全小・中学校が評価結果をホームページで公表するなど、本格実施2年目になり、学校評価が定着してきている。 また、今年度から学校関係者評価委員の報酬を予算化したことにより、さらに評価を充実させるための支援ができた。	
	② 教育委員会及び小・中学校のホームページによる情報発信		学校教育課
	活動内容	学校教育課及び教育研究所のホームページ内容を充実させ、市で取り組んでいることが学校や市民に周知できるようにする。 また、各学校のホームページが定期的に更新され、内容が充実するような支援を行う。	
自己評価	教育委員会については、課内担当事業や諸調査の分析結果などを掲載し、学校教育課・教育研究所ともに内容を充実させることができた。 学校については、パソコン研修会にホームページ研修を取り入れたり、ICT支援員を学校に派遣するなど、この取組みに対する意識改革を図っており、支援により徐々にではあるが充実することができた。 ただ、内容に学校差があるので、支援の継続が必要である。		

# 重点施策個別表

2-4

推進目標			
2	豊かな人間性をはぐくむ学校教育の創造		
重点施策			
4	実践的指導力を高める教職員研修		担当課(館)
	① 教職員実践発表会及び教育講演会		学校教育課
	活動内容	教育実践発表会及び夏季教育講演会の内容を充実させる。また、昨年から実施している市教職員代表による研修視察と、今年度新たに実施する小・中学校教員の研修視察事業を通して教職員の指導力向上と研究主任の活性化を図り、その成果が生かされるようにする。	
	自己評価	教職員研究実践発表会は発表数、発表内容ともに充実し、参加する教職員の意欲も高まってきている。 また、研修視察事業の企画・実施を通して、研究主任の学校課題や授業改善への意識が高まるとともに、各校の研究実践が活性化した。 夏季教育講演会・夏季休業中の研修(学級担任・パソコン)・講師研修会・市初任者研修・研修視察事業①(全小・中学校)・研修視察事業②(市教職員代表)・実践発表会など、教職員研修を体系化できたことは大きな成果である。	
	② 市初任者研修		学校教育課
	活動内容	年5回の初任者研修の内容を充実させ、参加した初任者が意欲的に研修できる場になるようにする。	
	自己評価	大館市の特長を生かした体験的な研修(幼稚園訪問・企業訪問・農業体験等)を実施し、フィールドワークや地域企業訪問を通して市の自然や文化、産業の理解を深めることができた。 初任者の研修に対する意欲が高く、研修後の成果も大きい。	
	③ 講師研修会		教育総務課
	活動内容	年4回の講師研修会の内容を工夫し、参加した講師が意欲的に研修できる場になるようにする。	
	自己評価	模擬授業やQ-U調査活用の演習など、実践的な研修を取り入れて参加意欲の向上を図ることができた。 また、教師としての心構えやサービスについての講話を取り上げたことは効果的であった。 今後は、さらに内容を充実したものにして講師の力量を高めていく必要がある。	

# 重点施策個別表

2-5

推進目標	
2	豊かな人間性をはぐくむ学校教育の創造
重点施策	
5	児童生徒の育成に資する教育環境の整備
	担当課(館)
①	園及び学校教育環境適正化の推進
	学校教育課
活動内容	今年度末に予定されている桂城幼稚園の閉園が、関係者の理解を得ながらスムーズに進むような取り組みを行う。 また、雪沢小学校、大葛小学校の学校統合に取り組み、地域の理解を得ながら目標を達成できるようにする。
自己評価	桂城幼稚園の閉園については、幼稚園との連携を密にして計画どおり作業を進めることができた。 教育環境適正化に係る小学校(雪沢小・大葛小)の学校統合については、地域住民や保護者の意向を尊重しながら計画に沿って説明会を実施することができた。また、中学校(第二中・花岡中・矢立中)への説明会も年度内に実施できた。 しかし、まだ合意には至っていないので今後も継続し、粘り強い取り組みが必要である。
②	給食センターの適正な運営と食育の推進
	学校教育課
活動内容	体制が変わった給食センターの運営を軌道に乗せるとともに、調理場の衛生管理や給食費未納対策などの諸課題に的確に対応する。 また、栄養教諭や学校栄養職員と連携し、地産地消を推進するとともに食に対して学ぶ機会を充実させる。 さらに、課としての食育に対する取り組みを明確にし、市の食育推進計画の策定に協力する。
自己評価	今年度から3名の専任センター長を配置したことで、調理場の衛生管理や職員指導及び関係事務処理をスムーズに進めることができた。 また、市学校給食運営委員会の内容を充実させたことで、共通する課題に対して迅速に対応できたことは大きな成果である。 食育の推進については、関係各課と連携しながら「大館市食育推進計画」を策定することができた。
③	適切な事故防止計画の策定と突発的な事故への効果的な対応
	学校教育課
活動内容	長期休業中の事故防止を中心に計画書を策定し学校に指導するとともに、関係各機関と連携を取りながらその指導に努める。また、突発的な事故(交通事故・水の事故、不審者、いじめや不登校、伝染病など)に対して迅速に対応し、児童生徒の安全確保に努める。
自己評価	通知文書や校長会・教頭会、生徒指導主事の会を通して事故防止の徹底を図り、今年度、命にかかわるような大きな事故がなかったことは大きな成果である。 また、特に10月から12月にかけて新型インフルエンザの発生があり、市内小・中学生の38%の児童生徒が罹患したが、大館保健所、市立病院など関係各課、学校などと連携して迅速に対応し、重症者を出さないなど被害を最小限に止めることができた。「新型インフルエンザ対応マニュアル」を作成して対応したことも成果の一つである。 不登校については、昨年と比較して発症者数が横ばいで減少に至らなかった。今後の課題である。

# 重点施策個別表

3-1

推進目標						
3	市民の学習環境の充実					
重点施策						
1	学社連携・融合事業の推進	担当課(館)				
	① 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業の推進	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」及び文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」を実施し、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供していく。事業は市内19小学校全学区で実施している。 「放課後児童健全育成事業」の窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と、事務の効率化が図られるとして、平成21年度から生涯学習課の所管にした。 各施設の登録者数の適正化と活動内容の平均化及び不公平感是正のための有料化が懸案事項である。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>市内19小学校全学区において、「放課後児童クラブ」又は「放課後子ども教室」を開設し、放課後児童の居場所づくりを実施している。今年度から「放課後児童健全育成事業」を生涯学習課の所管として、窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と事務の効率化が図られた。 なお、有料化については、地域の実状や同じ施設内で行われている、他の事業との兼合いなどを考慮しながら検討中である。</td> </tr> </table>	活動内容	厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」及び文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」を実施し、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供していく。事業は市内19小学校全学区で実施している。 「放課後児童健全育成事業」の窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と、事務の効率化が図られるとして、平成21年度から生涯学習課の所管にした。 各施設の登録者数の適正化と活動内容の平均化及び不公平感是正のための有料化が懸案事項である。	自己評価	市内19小学校全学区において、「放課後児童クラブ」又は「放課後子ども教室」を開設し、放課後児童の居場所づくりを実施している。今年度から「放課後児童健全育成事業」を生涯学習課の所管として、窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と事務の効率化が図られた。 なお、有料化については、地域の実状や同じ施設内で行われている、他の事業との兼合いなどを考慮しながら検討中である。	
活動内容	厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」及び文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」を実施し、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供していく。事業は市内19小学校全学区で実施している。 「放課後児童健全育成事業」の窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と、事務の効率化が図られるとして、平成21年度から生涯学習課の所管にした。 各施設の登録者数の適正化と活動内容の平均化及び不公平感是正のための有料化が懸案事項である。					
自己評価	市内19小学校全学区において、「放課後児童クラブ」又は「放課後子ども教室」を開設し、放課後児童の居場所づくりを実施している。今年度から「放課後児童健全育成事業」を生涯学習課の所管として、窓口を一本化することにより、市民サービスの向上と事務の効率化が図られた。 なお、有料化については、地域の実状や同じ施設内で行われている、他の事業との兼合いなどを考慮しながら検討中である。					
	② 学校支援地域本部事業の推進(継続)	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託するもの。地域の教育力を学校教育へ活用し、地域ぐるみで子どもを育む環境を整備する。学区に設置される「学校支援地域本部事業」の推進を継続する。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>5学区(4小学校、2中学校)で事業を継続しており、各本部とも、環境整備、学習支援、部活動支援などに地域の教育力を大いに活用している。正課クラブなどにエキスパートをお願いすることで、子どもたちの反応もよく、地域の活性化が図られるなど成果が現われている。</td> </tr> </table>	活動内容	文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託するもの。地域の教育力を学校教育へ活用し、地域ぐるみで子どもを育む環境を整備する。学区に設置される「学校支援地域本部事業」の推進を継続する。	自己評価	5学区(4小学校、2中学校)で事業を継続しており、各本部とも、環境整備、学習支援、部活動支援などに地域の教育力を大いに活用している。正課クラブなどにエキスパートをお願いすることで、子どもたちの反応もよく、地域の活性化が図られるなど成果が現われている。	
活動内容	文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託するもの。地域の教育力を学校教育へ活用し、地域ぐるみで子どもを育む環境を整備する。学区に設置される「学校支援地域本部事業」の推進を継続する。					
自己評価	5学区(4小学校、2中学校)で事業を継続しており、各本部とも、環境整備、学習支援、部活動支援などに地域の教育力を大いに活用している。正課クラブなどにエキスパートをお願いすることで、子どもたちの反応もよく、地域の活性化が図られるなど成果が現われている。					
	③ 訪問型家庭教育相談体制充実事業の実施(新規)	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託する事業として、「家庭教育支援チーム」を設置し、支援チームが家庭や企業等を訪問して家庭教育支援(相談対応や意識啓発)に取り組む。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>「家庭教育支援チーム」の子育てサポーターリーダーを中心に、「しゃべり場」を開設して、子育て中の母親などの育児不安の解消に努めている。 関係機関との連携や企業訪問などで、家庭教育支援に取り組んでおり、相談体制の充実が図られた。</td> </tr> </table>	活動内容	文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託する事業として、「家庭教育支援チーム」を設置し、支援チームが家庭や企業等を訪問して家庭教育支援(相談対応や意識啓発)に取り組む。	自己評価	「家庭教育支援チーム」の子育てサポーターリーダーを中心に、「しゃべり場」を開設して、子育て中の母親などの育児不安の解消に努めている。 関係機関との連携や企業訪問などで、家庭教育支援に取り組んでおり、相談体制の充実が図られた。	
活動内容	文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託する事業として、「家庭教育支援チーム」を設置し、支援チームが家庭や企業等を訪問して家庭教育支援(相談対応や意識啓発)に取り組む。					
自己評価	「家庭教育支援チーム」の子育てサポーターリーダーを中心に、「しゃべり場」を開設して、子育て中の母親などの育児不安の解消に努めている。 関係機関との連携や企業訪問などで、家庭教育支援に取り組んでおり、相談体制の充実が図られた。					
	④ 達人講座の継続実施	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>文部科学省の委託事業である、「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業が平成20年度で終了した。 この事業を活用して開催した「達人講座」の受講者から、事業の継続要望があり、講座を開設してくれた団体等に要請したところ、22講座を自主的に継続実施している。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>平成20年度で文部科学省の委託事業が終了したが、今年度も地域の達人が、昨年度と同数の22講座を自主的に開設し、391人の子どもたちが登録して様々な活動をするなど、地域の教育力の活用が図られた。</td> </tr> </table>	活動内容	文部科学省の委託事業である、「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業が平成20年度で終了した。 この事業を活用して開催した「達人講座」の受講者から、事業の継続要望があり、講座を開設してくれた団体等に要請したところ、22講座を自主的に継続実施している。	自己評価	平成20年度で文部科学省の委託事業が終了したが、今年度も地域の達人が、昨年度と同数の22講座を自主的に開設し、391人の子どもたちが登録して様々な活動をするなど、地域の教育力の活用が図られた。	
活動内容	文部科学省の委託事業である、「学びあい、支えあい」地域活性化推進事業が平成20年度で終了した。 この事業を活用して開催した「達人講座」の受講者から、事業の継続要望があり、講座を開設してくれた団体等に要請したところ、22講座を自主的に継続実施している。					
自己評価	平成20年度で文部科学省の委託事業が終了したが、今年度も地域の達人が、昨年度と同数の22講座を自主的に開設し、391人の子どもたちが登録して様々な活動をするなど、地域の教育力の活用が図られた。					

# 重点施策個別表

3-2

推進目標	
3	市民の学習環境の充実
重点施策	
2	青少年の健全育成と地域活動の支援
	担当課(館)
①	大館市青少年問題協議会の活動の充実
	生涯学習課
活動内容	大館市青少年健全育成推進方針を策定し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚、環境整備など様々な活動を通し、青少年健全育成を図る。 ○7月4日「青少年を非行から守る市民のつどい」 「第59回社会を明るくする運動」
自己評価	関係機関や団体と連携しながら、「青少年を非行から守る市民のつどい」「社会を明るくする運動」を開催して、市民の意識高揚を図り、青少年を取りまく環境整備・浄化が促進された。
②	少年相談センターの活動の充実
	生涯学習課
活動内容	運営協議会委員、補導員、学校など関係機関と連携し、学校訪問、合同巡回等、青少年健全育成のための環境維持に努める。
自己評価	センターにおける相談活動や、関係機関・関係者との定期的な協議、補導員との合同巡回などを行うなどし、青少年が抱える問題の解決と環境の維持ができた。
③	関係機関への補助金交付による支援
	生涯学習課
活動内容	青少年育成大館市民会議、子ども会育成連合会など関係団体への補助金交付により、その活動を支援する。
自己評価	青少年育成大館市民会議、子ども会育成連合会のほか、ボーイスカウト秋田第4団、大館地区少年保護育成委員会、大館鳳鳴高等学校振興会など、社会教育に関わる団体に補助金を交付し、その活動を支援した。 しかし、交付額の減額から活動内容などの再検討が求められている。
④	公民館事業における青少年健全育成の取り組み
	中央公民館
活動内容	小学生を対象に、土曜日や夏休みなどの休日を利用した青少年健全育成事業を行う。 ○わんぱくスクール～自然に親しみ、他校児童との交流を通し集団活動の大切さを学ぶ。 ○夏休み親子スクール～親同志の交流により家庭教育を学びあい、親子のふれあいを深める。 ○夏休み将棋スクール～日本の伝統ゲームを学び、対局を通して他校との交流、友達づくりを図る。
自己評価	わんぱくスクールは、新型インフルエンザの感染拡大のため2回の休校があり、予定された回数を行うことができなかったが、子供同士の交流が生まれたことや、体験型学習が好評であった。 夏休み将棋スクールは参加者も多く盛況で、参加者同士で良好な友人関係をつくることができた。 夏休み親子スクールは参加申込者が少なかつたため、今年度は開催できなかった。 今後、事業内容の見直しや周知方法の検討が必要である。

# 重点施策個別表

3-3-1

推進目標						
3	市民の学習環境の充実					
重点施策						
3	市民の生きがいづくりの推進と生涯学習ボランティア活動者登録と活用	担当課(館)				
	① 社会教育委員の活動の充実	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、社会教育全般の運営を行う。 平成20年度からは、教育委員会点検・評価への意見・提言を行っている。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>平成20年度からは、教育委員会点検・評価への意見・提言を行っており、社会教育全般に対する指導・助言のほかに、研修会の参加や、実践発表などの活動を行った。</td> </tr> </table>	活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、社会教育全般の運営を行う。 平成20年度からは、教育委員会点検・評価への意見・提言を行っている。	自己評価	平成20年度からは、教育委員会点検・評価への意見・提言を行っており、社会教育全般に対する指導・助言のほかに、研修会の参加や、実践発表などの活動を行った。	
活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、社会教育全般の運営を行う。 平成20年度からは、教育委員会点検・評価への意見・提言を行っている。					
自己評価	平成20年度からは、教育委員会点検・評価への意見・提言を行っており、社会教育全般に対する指導・助言のほかに、研修会の参加や、実践発表などの活動を行った。					
	② 生涯学習推進協議会委員、生涯学習奨励員の活動の充実	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>関係団体相互の連携をとりながら、「だれでも・いつでも・どこでも・なんでも」出来る生涯学習の推進充実を図る。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>生涯学習推進協議会委員には、それぞれの立場から生涯学習推進事業などへの指導・助言、意見をいただいた。 生涯学習奨励員は、生涯学習フェスティバルへの参加、各種研修等による自己研鑽、個々の活動による生涯学習の推進に努めた。 今後、関係団体との連携をとりながら、より充実した活動が望まれる。</td> </tr> </table>	活動内容	関係団体相互の連携をとりながら、「だれでも・いつでも・どこでも・なんでも」出来る生涯学習の推進充実を図る。	自己評価	生涯学習推進協議会委員には、それぞれの立場から生涯学習推進事業などへの指導・助言、意見をいただいた。 生涯学習奨励員は、生涯学習フェスティバルへの参加、各種研修等による自己研鑽、個々の活動による生涯学習の推進に努めた。 今後、関係団体との連携をとりながら、より充実した活動が望まれる。	
活動内容	関係団体相互の連携をとりながら、「だれでも・いつでも・どこでも・なんでも」出来る生涯学習の推進充実を図る。					
自己評価	生涯学習推進協議会委員には、それぞれの立場から生涯学習推進事業などへの指導・助言、意見をいただいた。 生涯学習奨励員は、生涯学習フェスティバルへの参加、各種研修等による自己研鑽、個々の活動による生涯学習の推進に努めた。 今後、関係団体との連携をとりながら、より充実した活動が望まれる。					
	③ 「おおだて人財名簿」の充実と活用	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>特技や知識をもつ市民を、学習ボランティアとして募集・登録し、学校や公民館などの関係機関に紹介し、学習活動に活用してもらう。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>市民の学習活動やボランティアなどの人材活用に機能しており、今年度は173名が登録。 更新時に活動実績を調査したところ、84名、294件の実績が報告された。</td> </tr> </table>	活動内容	特技や知識をもつ市民を、学習ボランティアとして募集・登録し、学校や公民館などの関係機関に紹介し、学習活動に活用してもらう。	自己評価	市民の学習活動やボランティアなどの人材活用に機能しており、今年度は173名が登録。 更新時に活動実績を調査したところ、84名、294件の実績が報告された。	
活動内容	特技や知識をもつ市民を、学習ボランティアとして募集・登録し、学校や公民館などの関係機関に紹介し、学習活動に活用してもらう。					
自己評価	市民の学習活動やボランティアなどの人材活用に機能しており、今年度は173名が登録。 更新時に活動実績を調査したところ、84名、294件の実績が報告された。					
	④ 出前講座の充実と活用	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>市民の身近な問題や市政情報など、市民の要望により提供し、ともに「まちづくり」をすすめる。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>市民の学習活動や市の情報提供に活用され、今年度は39講座。1月末現在で、68件、2125人の参加者があり、昨年度と同様の実績になっている。 町内会、老人クラブ、学校の総合学習など幅広く活用された。</td> </tr> </table>	活動内容	市民の身近な問題や市政情報など、市民の要望により提供し、ともに「まちづくり」をすすめる。	自己評価	市民の学習活動や市の情報提供に活用され、今年度は39講座。1月末現在で、68件、2125人の参加者があり、昨年度と同様の実績になっている。 町内会、老人クラブ、学校の総合学習など幅広く活用された。	
活動内容	市民の身近な問題や市政情報など、市民の要望により提供し、ともに「まちづくり」をすすめる。					
自己評価	市民の学習活動や市の情報提供に活用され、今年度は39講座。1月末現在で、68件、2125人の参加者があり、昨年度と同様の実績になっている。 町内会、老人クラブ、学校の総合学習など幅広く活用された。					

# 重点施策個別表

3-3-2

推進目標						
3	市民の学習環境の充実					
重点施策						
3	市民の生きがいがづくりの推進と生涯学習ボランティア活動者登録と活用	担当課(館)				
	⑤ 生涯学習フェスティバルの実施	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td> <p>広く市民に対し、生涯学習に関する実践活動や理解する機会を提供し、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高める。</p> <p>9、10月を生涯学習強調月間、9月26、27日をメイン開催日とし、中央公民館をはじめとする社会教育関連施設等を会場に、協賛を含む約20の事業を行う予定。</p> </td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td> <p>19回目の開催となるが、今年も生涯学習実践発表の場となった。</p> <p>新しい企画もあるが、他のイベントと輻輳する時期のため、参加者の減少が課題となった。</p> </td> </tr> </table>	活動内容	<p>広く市民に対し、生涯学習に関する実践活動や理解する機会を提供し、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高める。</p> <p>9、10月を生涯学習強調月間、9月26、27日をメイン開催日とし、中央公民館をはじめとする社会教育関連施設等を会場に、協賛を含む約20の事業を行う予定。</p>	自己評価	<p>19回目の開催となるが、今年も生涯学習実践発表の場となった。</p> <p>新しい企画もあるが、他のイベントと輻輳する時期のため、参加者の減少が課題となった。</p>	
活動内容	<p>広く市民に対し、生涯学習に関する実践活動や理解する機会を提供し、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高める。</p> <p>9、10月を生涯学習強調月間、9月26、27日をメイン開催日とし、中央公民館をはじめとする社会教育関連施設等を会場に、協賛を含む約20の事業を行う予定。</p>					
自己評価	<p>19回目の開催となるが、今年も生涯学習実践発表の場となった。</p> <p>新しい企画もあるが、他のイベントと輻輳する時期のため、参加者の減少が課題となった。</p>					
	⑥ 大学公開講座の実施	生涯学習課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td> <p>秋田看護福祉大学による公開講座。市民の日常生活にかかわりの深い福祉について、多角的で分かりやすい講義を実施し、市民の多様化・高度化する学習への要望に応える。</p> <p>7月14～16日の三日間実施。</p> </td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td> <p>介護など福祉をテーマに開講した。時代に適合したテーマを取り上げているが、受講者の固定化と減少傾向があり、講座開催について再検討の必要がある。</p> </td> </tr> </table>	活動内容	<p>秋田看護福祉大学による公開講座。市民の日常生活にかかわりの深い福祉について、多角的で分かりやすい講義を実施し、市民の多様化・高度化する学習への要望に応える。</p> <p>7月14～16日の三日間実施。</p>	自己評価	<p>介護など福祉をテーマに開講した。時代に適合したテーマを取り上げているが、受講者の固定化と減少傾向があり、講座開催について再検討の必要がある。</p>	
活動内容	<p>秋田看護福祉大学による公開講座。市民の日常生活にかかわりの深い福祉について、多角的で分かりやすい講義を実施し、市民の多様化・高度化する学習への要望に応える。</p> <p>7月14～16日の三日間実施。</p>					
自己評価	<p>介護など福祉をテーマに開講した。時代に適合したテーマを取り上げているが、受講者の固定化と減少傾向があり、講座開催について再検討の必要がある。</p>					
	⑦ 公民館事業における生涯学習への取り組み	中央公民館				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td> <p>生きがいがづくり推進のため、市民向けの講座を開催する。</p> <p>「老壮大学」「パソコン講座」</p> <p>生涯学習フェスティバル参加への支援、協力</p> <p>各サークルの作品展示、発表に対し積極的な支援、協力を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td> <p>生きがいがづくりの場として老壮大学の講座への参加希望者は多く、現在303名が在籍し参加している。</p> <p>しかし、在籍会員の高齢化が進み年々受講生が減少していることが課題となっている。</p> <p>パソコン講座は人気講座で常に定員状態であった。初心者の受け皿として定着していることから今後も継続していきたい。</p> <p>生涯学習フェスティバルでは、参加に対し積極的なサークルが多い反面、固定化が見られるため、今後、参加者の拡大を図る必要がある。</p> </td> </tr> </table>	活動内容	<p>生きがいがづくり推進のため、市民向けの講座を開催する。</p> <p>「老壮大学」「パソコン講座」</p> <p>生涯学習フェスティバル参加への支援、協力</p> <p>各サークルの作品展示、発表に対し積極的な支援、協力を行う。</p>	自己評価	<p>生きがいがづくりの場として老壮大学の講座への参加希望者は多く、現在303名が在籍し参加している。</p> <p>しかし、在籍会員の高齢化が進み年々受講生が減少していることが課題となっている。</p> <p>パソコン講座は人気講座で常に定員状態であった。初心者の受け皿として定着していることから今後も継続していきたい。</p> <p>生涯学習フェスティバルでは、参加に対し積極的なサークルが多い反面、固定化が見られるため、今後、参加者の拡大を図る必要がある。</p>	
活動内容	<p>生きがいがづくり推進のため、市民向けの講座を開催する。</p> <p>「老壮大学」「パソコン講座」</p> <p>生涯学習フェスティバル参加への支援、協力</p> <p>各サークルの作品展示、発表に対し積極的な支援、協力を行う。</p>					
自己評価	<p>生きがいがづくりの場として老壮大学の講座への参加希望者は多く、現在303名が在籍し参加している。</p> <p>しかし、在籍会員の高齢化が進み年々受講生が減少していることが課題となっている。</p> <p>パソコン講座は人気講座で常に定員状態であった。初心者の受け皿として定着していることから今後も継続していきたい。</p> <p>生涯学習フェスティバルでは、参加に対し積極的なサークルが多い反面、固定化が見られるため、今後、参加者の拡大を図る必要がある。</p>					

# 重点施策個別表

3-4

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
4	地域や団体等の活動を促進、支援		担当課(館)
	① 補助金交付による支援		生涯学習課
	活動内容	大館市連合婦人会(女性の地位向上・地域連帯強化)、大館市芸術文化連盟(芸術文化の創作発展)等への補助金交付により、その活動を支援する。	
	自己評価	大館市連合婦人会、大館市芸術文化連盟のほかに、比内町芸術文化協会と田代地区芸術文化協会へ補助金を交付した。 しかし、交付額の減額から、活動内容などの再検討が求められている。	
	② 公民館事業における地域支援		中央公民館
	活動内容	地区公民館、分館への予算配分及び活動事業の支援・指導の実施 地区ごとに特徴ある公民館活動を行うため、事業費の効率的な配分を行い、地域の活性化に資する。	
自己評価	各地区公民館の活動は予算的な制約もあり、地域住民にも一部財政的な協力をお願いした。 その様な状況下、地域の特色ある事業展開が行われ、概ね良好な活動を維持した。 今年度から暖房費の実費負担をお願いしたが、地域住民の理解もあり大きな混乱もなかった。		

# 重点施策個別表

3-5

推進目標		
3	市民の学習環境の充実	
重点施策		
5	図書館活動の推進と充実	担当課(館)
	① 図書館情報システムの整備促進	中央図書館
	活動内容	老朽化した中央図書館の図書館情報システムを更新するとともに、田代図書館への同システムの導入のために蔵書データ入力を進める。
	自己評価	中央図書館の図書館情報システムは、事前研修等を行い8月から本稼動を行った。現在、大きなトラブルもなく稼動している。また、田代図書館の蔵書データ入力は、緊急雇用対策事業などを活用し約17000冊分のデータ入力を実施できた。 来年度以降も引き続き計画的に進めたい。
	② 蔵書管理の推進	中央図書館
	活動内容	昨年度実施した花矢図書館の蔵書点検結果を踏まえ、市内全図書館で蔵書点検を実施し、正確な蔵書数を把握する。
	自己評価	市内全図書館で蔵書点検を実施した。また、蔵書点検と併せて、廃棄もしくは今後活用されないと判断される図書の整理も行った。 今後も毎年蔵書点検を実施し蔵書管理を徹底したい。
	③ 図書館資料の充実	中央図書館
	活動内容	市民、団体等へ図書の寄贈を働きかけ蔵書の充実を図るとともに、市内の図書館はもちろん県立図書館などとの連携により相互貸借を進め、市民のニーズに応える。
	自己評価	図書館後援会への協力依頼やポスターの掲示などを行い、約400冊の寄贈図書を図書館の蔵書とし、さらに図書購入のための寄附もあり蔵書の充実は図られた。相互貸借についても、県立図書館からテーマごとに借りるなどの新たな試みも行った。
	④ 読書活動推進事業の展開	中央図書館
	活動内容	できるだけ早い時期から「本に親しむ」習慣をつけるため、ボランティアと連携した「読み聞かせ会」やブックスタート事業の充実を図るとともに、地域や図書館の特色を生かした事業を展開する。
	自己評価	市内全図書館で「読み聞かせ会」を実施するとともに、文化講演会や読書感想画展など地域や図書館の特色を生かした事業を実施した。今後もボランティアを生かした特色ある事業を進めたい。
	⑤ 本と親しめる場の拡大	中央図書館
	活動内容	今後活用されないと判断する蔵書や寄贈図書のうち図書館として活用できないものについては、市内の他施設へ提供し「本と親しめる場」の充実・拡大を進める。
	自己評価	緊急雇用対策事業や県の「子ども読書夢プラン事業」を活用し、今後活用しないと判断した蔵書や寄贈書を市立病院や学校、社会教育施設等へ提供した。今後も「本と親しめる場」の充実と拡大を進めたい。

# 重点施策個別表

3-6

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
6	芸術文化の振興を図るための鑑賞機会の提供		担当課(館)
	① 市民文化会館主催事業への協力		生涯学習課
	活動内容	主催事業の広報、参加の呼びかけ等の協力。	
	自己評価	主催事業などの入場者が、平成17年度をピークに減少傾向にあるため、様々な機会を利用して関係機関や団体などに対し広報、参加の呼びかけを行った。	
	② 「本物の舞台芸術体験事業」の展開		生涯学習課
	活動内容	文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」の開催にあたり、市内各小中学校への事業周知や申請手続き等の支援を行う。	
	自己評価	今年度は、東中学校のオペラ(カルメン)が採択され、9月に上演された。本格的な芸術を鑑賞する機会が希少なため、生徒や保護者のオペラに対する評価は高く、次回開催の要望も多数あった。今後も、事業周知と申請手続きなどの支援を行う。	
	③ 公民館事業における芸術文化の振興		中央公民館
	活動内容	関連サークル等への活動の場を提供し、作品展示や学芸発表への支援、協力をを行う。	
自己評価	中央公民館をはじめ地区館でのサークル活動は、地域による違いはあるものの概ね順調に活動を継続した。公民館主催の文化祭や各事業への参加も順調であった。		

# 重点施策個別表

3-7

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
7	文化財の利活用及び保護と調査の推進		担当課(館)
	① 埋蔵文化財調査		郷土博物館
	活動内容	茂木屋敷跡発掘調査を6月～11月にかけて実施する。 埋蔵文化財詳細分布調査の実施(国庫補助事業)6月～12月、5ヶ月前後(開発申請によって不定)。	
	自己評価	埋蔵文化財詳細分布調査は上代野・赤川・味噌内・川口立花・小坪沢・白沢水沢・中野・鍛冶屋敷の市内8カ所で予定どおり実施した。 茂木屋敷跡発掘調査は天候不順で予定から遅れが生じたが、全体の4分の1の精査を終えた。 発掘が進むにつれ、調査範囲内に年代の異なる複数の建物跡が発見されたことから、平成22年度も引き続き調査を実施し残りの精査を完了させることとした。	
	② 秋田三鶏記念館の運営		郷土博物館
	活動内容	秋田三鶏記念館の建設に伴う管理運営方針の確立。設置条例の制定。	
自己評価	施設の管理については、市が運営、三鶏の孵化、育すうは三鶏保存会へ委託。管理運営を多角的見地から行えるよう「秋田三鶏記念館運営審議会」を設置することを運営方針とし、12月定例議会で条例を制定し設置、委員を委嘱し、方針を決定した。		

# 重点施策個別表

3-8

推進目標					
3	市民の学習環境の充実				
重点施策					
8	生涯学習にかかる広報活動の充実	担当課(館)			
	① 生涯学習にかかる広報活動の充実	生涯学習課			
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>ポスターやチラシの配布のほか、市長の記者会見や、広報等を活用し、生涯学習講座事業など生涯学習にかかる情報を広く市民に周知する。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>ポスターやチラシの配布、市長の記者会見や広報のほか、市や教育委員会のホームページなど、あらゆる広報手段を活用して、事業開催の案内などを市民に発信した。 また、学生を対象にした事業については、学校を通じて参加を呼びかけるなど、その周知に努めた。</td> </tr> </table>	活動内容	ポスターやチラシの配布のほか、市長の記者会見や、広報等を活用し、生涯学習講座事業など生涯学習にかかる情報を広く市民に周知する。	自己評価	ポスターやチラシの配布、市長の記者会見や広報のほか、市や教育委員会のホームページなど、あらゆる広報手段を活用して、事業開催の案内などを市民に発信した。 また、学生を対象にした事業については、学校を通じて参加を呼びかけるなど、その周知に努めた。
活動内容	ポスターやチラシの配布のほか、市長の記者会見や、広報等を活用し、生涯学習講座事業など生涯学習にかかる情報を広く市民に周知する。				
自己評価	ポスターやチラシの配布、市長の記者会見や広報のほか、市や教育委員会のホームページなど、あらゆる広報手段を活用して、事業開催の案内などを市民に発信した。 また、学生を対象にした事業については、学校を通じて参加を呼びかけるなど、その周知に努めた。				

# 重点施策個別表

3-9

推進目標						
3	市民の学習環境の充実					
重点施策						
9	体育・レクリエーション事業の振興	担当課(館)				
	① スポーツ課事業	スポーツ課				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>                     次の体育・レクリエーション事業を主催し、市民が気軽にスポーツに親しみ、交流する機会を設定する。また、メタボ対策に関する事業を計画し、実施する。                      ・ウォーキングデー大館大会 (6月)                      ・グリアス田代バレーボール教室(8月～10月)                      ・市民スポーツレクリエーション祭(10月)                      ・(仮称)メタボ解消体操(10月頃)                      ・グリアススポレクフェスティバル (1月)                 </td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>                     例年実施している体育・レクリエーション事業については予定どおり実施した。                      新規計画事業のメタボ解消体操を、健康推進課が実施している事業に共催し、1月以降実施する軽体操事業にメタボ解消事業として宣伝等の協力をした。                 </td> </tr> </table>	活動内容	次の体育・レクリエーション事業を主催し、市民が気軽にスポーツに親しみ、交流する機会を設定する。また、メタボ対策に関する事業を計画し、実施する。 ・ウォーキングデー大館大会 (6月) ・グリアス田代バレーボール教室(8月～10月) ・市民スポーツレクリエーション祭(10月) ・(仮称)メタボ解消体操(10月頃) ・グリアススポレクフェスティバル (1月)	自己評価	例年実施している体育・レクリエーション事業については予定どおり実施した。 新規計画事業のメタボ解消体操を、健康推進課が実施している事業に共催し、1月以降実施する軽体操事業にメタボ解消事業として宣伝等の協力をした。	
活動内容	次の体育・レクリエーション事業を主催し、市民が気軽にスポーツに親しみ、交流する機会を設定する。また、メタボ対策に関する事業を計画し、実施する。 ・ウォーキングデー大館大会 (6月) ・グリアス田代バレーボール教室(8月～10月) ・市民スポーツレクリエーション祭(10月) ・(仮称)メタボ解消体操(10月頃) ・グリアススポレクフェスティバル (1月)					
自己評価	例年実施している体育・レクリエーション事業については予定どおり実施した。 新規計画事業のメタボ解消体操を、健康推進課が実施している事業に共催し、1月以降実施する軽体操事業にメタボ解消事業として宣伝等の協力をした。					
	② 公民館事業における健康づくり	中央公民館				
	<table border="1"> <tr> <td>活動内容</td> <td>                     地区公民館運動会の開催                      地域住民の健康維持及び世代間交流に資するため、地区公民館ごとに運動会を開催する。                 </td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>                     地区公民館での運動会は、健康維持や世代間、各集落間の交流のため欠かせないものとして定着した。                      地区公民館単位では運動会開催が難しくなっている地区もあるが、公民館合同で開催をしているところもある。                      地域住民も楽しみとしているため、今後も工夫を凝らしながら継続していきたい。                 </td> </tr> </table>	活動内容	地区公民館運動会の開催 地域住民の健康維持及び世代間交流に資するため、地区公民館ごとに運動会を開催する。	自己評価	地区公民館での運動会は、健康維持や世代間、各集落間の交流のため欠かせないものとして定着した。 地区公民館単位では運動会開催が難しくなっている地区もあるが、公民館合同で開催をしているところもある。 地域住民も楽しみとしているため、今後も工夫を凝らしながら継続していきたい。	
活動内容	地区公民館運動会の開催 地域住民の健康維持及び世代間交流に資するため、地区公民館ごとに運動会を開催する。					
自己評価	地区公民館での運動会は、健康維持や世代間、各集落間の交流のため欠かせないものとして定着した。 地区公民館単位では運動会開催が難しくなっている地区もあるが、公民館合同で開催をしているところもある。 地域住民も楽しみとしているため、今後も工夫を凝らしながら継続していきたい。					

# 重点施策個別表

4-1  
~3

推進目標			
4	市民生活に定着するスポーツの推進と支援		
重点施策			
1	地区体育、スポーツ振興会の充実強化		担当課(館)
	① スポーツ課事業		スポーツ課
	活動内容	大館15地区の体育スポーツ振興会に対し補助金を交付し、地区のスポーツの振興を図る。地区に対しては、事業計画の助言とスポーツレクリエーション祭への参加の呼びかけ、全地域がスポーツを通じて交流を図れるよう推進する。	
自己評価	昨年発足の旧比内、田代地区に体育スポーツ振興会ができ、他の13地区スポーツ振興会とともにスポーツレクリエーション祭に積極的に参加、スポーツを通じて他地区との交流を図ることができた。		
2	スポーツ指導者の発掘と養成		担当課(館)
	① スポーツ指導者の発掘と養成		スポーツ課
	活動内容	体育指導員及びスポーツ少年団を中心に指導員講習会、定例会等の開催、他で開催される講習会等の情報提供、派遣により発掘と養成を図る。	
自己評価	指導員講習会等の開催、他で開催される講習会の派遣等により発掘と養成を図ることができた。 ・スポ少は主催事業5回に指導員、団員併せて延べ176名参加。 体育指導員は7回の各講習会等へ58名派遣、定例会を年6回実施している。		
3	体育指導委員会活動内容の充実		担当課(館)
	① 体育指導委員会活動内容の充実		スポーツ課
	活動内容	38人いる体育指導員に対し、東北地区体育指導委員協議会、秋田県体育指導員連絡協議会などが主催する研修会へ積極的に参加を呼びかけ、スポーツの知識と技能を高めるとともに、指導者としてのレベルアップを図る。	
自己評価	体育指導員の皆さんが、積極的に研修会に参加することにより、指導者としてのレベルアップに繋げることができた。		

# 重点施策個別表

4-4  
~7

4	各スポーツ競技団体の育成		担当課(館)
	① 各スポーツ競技団体の育成		スポーツ課
	活動内容	体育施設環境を整えながら、大館市体育協会を中心に各スポーツ競技団体の育成を図る。	
	自己評価	市体育協会を中心に各スポーツ競技団体へ強化費及び市民スポーツ祭開催補助等をしながら育成を図ることができた。	
5	スポーツ少年団の育成と強化		担当課(館)
	① スポーツ少年団の育成と強化		スポーツ課
	活動内容	スポーツを通じて心身の健全な青少年を育成するため、次により強化を図る。 ・スポーツ少年団リーダー会の育成補助 ・少年団育成のため、臨時担当者の設置	
	自己評価	スポーツ少年団リーダー会の育成については、新たに1団体が加入、36団、団員1,195名、指導者197名、計1,392名の登録となり、団員は100名ほど少なくなったが、市本部事業に積極的に参加し、強化を図ることができた。	
6	各種スポーツ教室と大会開催への機会援助		担当課(館)
	① 各種スポーツ教室と大会開催への機会援助		スポーツ課
	活動内容	市民体育館を会場にニュースポーツレストランを月2回開催し、普及を図る。 ・ラージボール卓球、ユニカール、ミニテニス、ターゲットバードゴルフ他 次の大会に補助し、スポーツ大会への参加機会を増やす。 ・山田記念ロードレース大会 ・高松宮賜杯全日本軟式野球大会秋田県大会 ・全国スポレク祭出場選手への補助 ・グリアス田代カップ綱引き大会 ・三市二郡中学校選抜野球大会 ・秋田県レクリエーション大会 ・市体育協会の育成のため補助するとともに、市体育協会が主催する15の競技大会へ補助をする。	
	自己評価	ニュースポーツレストランは、継続的に月2回のペースで開催。また、今年度予定の補助大会等については、交通事情等により、サマーローラースキー大会が廃止になったが、ほぼ計画どおりスポーツの振興を図ることができた。	
7	広報活動の充実		担当課(館)
	① 広報活動の充実		スポーツ課
	活動内容	市の主催するスポーツ事業について、随時「広報」に掲載するとともに、市内のスポーツ行事の開催予定については、毎週月曜日に地元紙へ情報(2週間分)を提供し、市民の周知に努める。 また、市のホームページ内教育委員会施設予約欄に一部施設空き情報を提供する。	
	自己評価	市の主催するスポーツ事業については、広報媒体を介し、積極的に広報活動の充実を図ることができた。	